

【高齢者の生きがい】

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

2 高齢者の生き方

(3) 生活と課題

生活する問題点と課題は、各世代によって異なりますが、時代によっても異なります。環境が厳しくなる時代であるから問題点・課題も複雑になってきていますし、その解決策は一段と難しいものです。

人間関係は複雑になる一方であり、信頼関係もなかなか出来ない状況であり、そのことにおける信頼度も複雑な面を持っています。核家族政策、持ち家政策、教育制度、社会規範などどれを見ても過去と異なった考え方が作られ、生きるための人間関係に時代の波が大きくなり、穏やかな日常生活が出来ない状態で、物質的なものだけは戦前、戦後の時代と比べて考えられないぐらい増えています。

生きることのすばらしさを感じることができる時代であれば、その人にとって最大の利益・幸福だと思えますが夢です。誰でも辛い生活はしたくないし、最後まで自分らしく生きたいと思うことは当然ですが、今の社会、当面の社会において、そういう環境がととのうことは、ないといえる状況です。

多くの人の幸福感はほぼ同じだと思いますが、一番の問題は人間関係だと思いますし、その人間関係を大きく作用しているものはお金です。昔からお金が人を動かしていると言われていますが、現在も同じですし、夢も変わってきます。

生まれた時の環境によって、苦しみの中身が異なりますし、死ぬような苦しみの中身も異なります。どうしても超えられない環境は、一般的には死ぬ時まで続く世の中でもあります。生まれた時の環境よりも少しでも生活環境が良くなれば、幸せを感じて生きることができると思えば生活し、その結果は、その時代しかわからないのも今の時代ですし、複雑な時代であり、あまり変化がなければ不平、不満、愚痴の多い生活になるしかないような社会です。寂しい時代であり、夢が存在するのか疑問が生じます。

生きる幸せに疑問を感じて生活しなければならない高齢者は、多くいると思いますし、これからも増えるのみで減ることは無いと思われる時代でもあります。現実はそのように甘くないと思いますが、少しでも夢を持たせてくれて、実現できるものであって欲しいです。現実には自己責任で、それを許すような世の中でもありませんし、厳しい社会とどう向かって生きていくのかが大きな問題です。